

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院臨床検体検査部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月4日 ～ 2013年3月31日の間に、血液疾患のために虎の門病院血液内科に入院・通院し、骨髄検査を受けられた方

【研究課題名】

同種造血幹細胞移植後の骨髄における hematogones と末梢血の B 細胞数、IgG との関連

【研究の目的・背景】

《目的》

同種造血幹細胞移植後の骨髄における hematogones の出現と末梢血の B 細胞数、IgG に関連があるか検討します。

《研究に至る背景》

同種造血幹細胞移植後の骨髄検査において、しばしば B 前駆細胞である hematogones を認めます。B 細胞は抗体産生に重要であり、hematogones の出現がみられる症例において、末梢血の B 細胞数が増加していることが確認できれば、患者さんの免疫構築の予測に役立つと考えました。また、B 細胞が増加した場合、血液中の免疫グロブリンで最も比率の高い IgG も同様に増加している可能性があると考えました。

【研究期間】

2025年5月26日 ～ 2026年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 臨床検体検査部 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：臨床検体検査部 ・ 荒岡秀樹

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年7月20日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床検体検査部 ・ 積田桂子

電話 03-3588-1111(代表)